

2 小学校中学年の指導例（1）

- ◆ **主題名** 受け継ぐ願い **指導内容** D [生命の尊重]
資料名 みちびきの像 (王寺町郷土資料③ 王寺町教育委員会)

◆ **ねらい**

みちびきの像を立てた人々の願いや再建を成し遂げた人々の思いについて考え、話し合うことを通して、生命の尊さについて理解を深め、自他の生命を大切にしようとする実践意欲や態度を育てる。

◆ **展開のあらまし**

○主な発問 ・予想される児童の意識	指導上の留意点	備考
<p>○ みちびきの像を立てた人々は、どんな考えから像を立てたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二度とこんな事故が起きないようにしたい。 ・光代さんたちの命を無駄にしたくない。 ・車を運転している人たちに事故の恐ろしさを伝えたい。 <p>○ ぼろぼろになったみちびきの像の再建を呼びかけ、町中の人々に通じた思いとは、どんな思いなのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんなぼろぼろのままでは光代さんたちがかわいそうだ。 ・あの事故のことや命を奪われた光代さんたちのことが忘れられてしまう。 ・事故のことをもう一度しっかりと人々に伝え、みんなで子どもたちの命を守らなければいけない。 <p>◎ 班のみんなに声をかけたヒロシは、どんなことを考えていたのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絶対に交通事故にあわないようにしましょう。 ・光代さんたちのことを忘れてはいけない。命はとても大切なんだ。 ・自分だけでなく班のみんなも車に気を付けるようにしなければいけない。 <p>○ 生命を大切にしたいと思ったことがありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビで交通事故のニュースを見たとき、これから気を付けようと思った。 ・生まれたとき、家族のみんなが心配したり喜んだりしてくれた話を聞いて、自分の命は大切なんだと思った。 	<p>◆ 子どもの命が奪われた悲惨な事故であり、王寺町の人々の大きな悲しみがあつたことを押さえ、光代さんたちのことをいつまでも忘れず、こんな事故を二度と起こさないという人々の強い願いに共感できるようにする。</p> <p>◆ 呼びかけの中心となった人々が交通安全母の会の人々であったことから、子どもの命を守りたいという思いとともに、王寺町の人々にとってみちびきの像はずっと受け継いできた交通安全のシンボルであったことに気付くことができるようにする。</p> <p>◆ 主人公が、お母さんの話やみちびきの像のことを思い出していることやいつもより大きな声を出していることに着目し、自他の生命を大切にしようとする主人公の決意に共感できるようにする。</p> <p>◆ ワークシートに書き込むことでじっくりと考えさせ、それを基に積極的に話し合えるようにする。</p> <p>◆ 各教科等の学習や日常生活で感じたことなどを振り返って自由に話し合い、生命の尊さについての理解を深め、自他の生命を大切にしようとする実践意欲や態度を育てるようにする。</p>	<p>ワークシート</p>

※ 展開のあらましに加え、導入として教材への興味喚起や追究する課題把握ができる活動等を、終末としてさらに見方や考え方を広げ深めるような説話や学習の振り返り等を行うなど、教材やねらい、児童の発達段階等に応じて指導を工夫したい。